

ボランティアセンターの今を知って start on!

Now V-station

2022

10

No.007

10月の活動①

ー千早赤阪村 稲刈り

10月の活動②

ーリレー・フォー・ライフ・ジャパン大阪あさひ
(プレイベント)

10月の活動③

ーRICE farmingの会 稲刈り&脱穀

10月の活動④

ー秋のボランティア説明会

10月の活動⑤

ー地域文化学

10月の活動⑥

ー熊野街道に竹灯籠を灯す

10月の活動⑦

ーとっておきの音楽祭inさかい
OCTOBER FES 2022

10月の活動⑧

ー森之宮フェスティバル

10月の活動⑨

ー堺市生涯学習サポーター養成講座・
地域コーディネーター研修

10月の活動⑩

ーボラがくvol.19「里親」

◎特集

「10月は食品ロス削減月間」

大阪府唯一の「村」で美しい棚田を保全する活動！

千早赤阪村 棚田保全活動(稲刈り)

10月1日(土)～10月2日(日) @下赤阪の棚田

大阪府・千早赤阪村

環境

大阪府にある唯一の村「千早赤阪村」。そこには、農林水産省認定の「日本の棚田百選」に選ばれた「下赤阪の棚田」という綺麗な棚田があります。

地元農家さんと都市住民、企業などと連携したこの棚田の保全活動に、V-stationは2012年から参加しています。

現在では村の方々と一緒に、棚田保全活動のほか、村おこしイベントにも参加するなど、**多種多様な活動**に参加させていただいています！



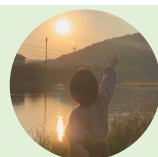
今回は棚田保全活動の一環として、村の農家さんと一緒に、**稲刈り作業**をおこないました。

自然あふれる風景の中で農作業をしていると、「**美味しい食**」と「**綺麗な風景**」は**セット**なのだと感じることができます。

千早赤阪村のお米は、金剛山からの綺麗な水で育つので、とても美味しいです。これからも、美味しい食事のために、綺麗な水、綺麗な風景を守っていききたいと思う活動です。



1日となりました。のんびりと作業しながら休憩時間には農家さんとお話して、日々の忙しさを忘れてリフレッシュできました。お昼にはおいしい栗ご飯のおにぎりを頂きました。心地よい秋晴れの中、稲穂で埋め尽くされた棚田に囲まれながら体を動かしたり、秋の味覚である栗を頂けたりと大満足な1日となりました。



参加した
学生の声

生活科学部 1回生
板谷 翠

10月1日に千早赤阪村で稲刈りのボランティアに参加しました。今お手伝いに行かせてもらった農家さんは、6月にも田植えを体験させてもらったところだったので、稲の成長を感じることができて嬉しかったです。

24時間ウォーキングをしてがん患者さんやそのご家族を支援するイベント

福祉

大阪府・大阪市

リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2022 大阪あさひ

10月1日(土) @もりのみやキューズモールBASE・大阪城公園

「リレー・フォー・ライフ」は「がん患者さんやそのご家族を支援し、地域全体でがんと向き合い、がん征圧を目指す」ことを目的に活動を行っています。

今回はがん患者さんとそのご家族、がん経験者とともに24時間歩くイベント「**リレーウォーク**」と、**大阪城をテーマカラーである紫にライトアップ**するイベントのプレイベントに参加しました。



今回V-stationでは、**レモネードスタンドの出店**を行いました！レモネードスタンドは、小児がんの少女が同じ状況の子どもたちを応援するための寄付集めのために始めたとして、現在では**がん患者支援の象徴の一つ**となっています。

値段の設定は行わず、募金という形で行いました。当日は、約50杯のレモネードをお渡しすることができ、多くの寄付もいただきました。**集った寄付金はがん患者さんを支援されている団体に寄付を行う**予定です。

「食」を通して新たな人や物事と出会えるような機会をこれからも作っていききたいと感じました！

「食」として新たな人や物事と出会えるような機会をこれからも作っていききたいと感じました！

今までは、私は「がん」という分野に触れる機会がなかったのですが、レモネードのお渡しを通して、がん患者さんやご家族関係者の方々と触れ合う貴重な機会となりました。まだまだ知らないことがたくさんあることを痛感する1日となりました。特に小さい頃からがんと闘っている方とお話したことがとても印象に残っています。



参加した
学生の声

地域保健学域 3年生
伊勢 史菜

世代・障害の有無を超えた稲作体験を大阪で

Rice farmingの会 稲刈り&脱穀

10月2日(日)、10月16日(金) @堺市南区檜尾の田んぼ

大阪府・堺市

環境
福祉

「RICE farmingの会」は、子どももおとなも障がいのあるなしに関わらず稲作からお米を食べるまでを楽しみ体験できる機会を作っている団体です。

また、昔ながらの農作業を通じて新たなつながりをつくることも行っています。大阪・泉北ニュータウンでどんな風に米が作られていくのかを体感できるイベントです。



10月は2回に渡り活動を行いました。

未就学児や小学生と一緒に遊びながら農作業を行い、10月2日は稲刈りとはげかけ（刈った稲を干す）、16日は足ふみ脱穀機での脱穀と唐箕（とうみ）かけや、もみとごみの選別作業をしました。

障がいの有無・世代を超えて、秋らしいのびのびとした活動となりました！

こうして得た稲は糶（あわ）に廻ります。今回の活動を通して、稲穂ができてからも白米になるまでに多くの工程を経ることを身をもって体感でき良かったです。

糶（あわ）は一定以上のものをほしいため、風を送って重さで選別する必要があります。これを唐箕で行います。これはハンドルを回すだけでいいので、子どもたちも楽しく回していました。

糶（あわ）は一定以上のものをほしいため、風を送って重さで選別する必要があります。これを唐箕で行います。これはハンドルを回すだけでいいので、子どもたちも楽しく回していました。

活動場所は梅・美木多駅から徒歩10分のところとアクセスが良く、都会から一気に田舎にきた気分になりました。田植えは手植え、稲刈りは鎌で刈ってと手作業がほとんどで、他の場所ではほとんどが機械化されている脱穀の工程を、足踏み脱穀機や唐箕を用いて行いました。脱穀はペダルを足で踏みながら糶（あわ）を取るのですが、これがなかなか大変でした。糶（あわ）は重さが一定以上のものをほしいため、風を送って重さで選別する必要があります。これを唐箕で行います。これはハンドルを回すだけでいいので、子どもたちも楽しく回していました。



参加した
学生の声

農学研究科 1年生

前田 泰輝 さん

説明会

大阪府・大阪市/堺市

V-stationが開催する定例のボランティア紹介イベント 秋のボランティア説明会（秋ボラ）

10月3日(月)～10月7日(金) @杉本キャンパス

10月10日(月)～10月15日(土) @中百舌鳥キャンパス

V-stationでは、ボランティアに興味のある学生に対して、V-stationについてのオリエンテーションや、興味のあるボランティアを紹介する「ボランティア説明会」を春・夏・秋・冬と各季節ごとに行っています。

10月は、「秋ボラ」として、V-stationなかもず、V-stationすぎもとで、新たにボランティアに興味のある学生と出会うことができました。



今回の秋ボラでは、全17名が新たにボランティア登録（V-mate登録）をおこなってくれました。

V-stationの学生スタッフがボランティアに興味のある学生とおしゃべりしていく中で、スタッフと参加者、また一緒に参加した学生同士が仲良くなったり、出会った学生の興味や魅力を知ったり、とても有意義な時間となりました。

今後も色々な方がボランティアを始められるきっかけを作っていきたいです。

また、ボランティア活動に参加している大学生は熱い思いを持った人が多く、学部学科を超えた普段では出会えない方々と一緒に活動できるため、自分自身の成長にも大きく繋がると感じました。

また、ボランティア活動に参加している大学生は熱い思いを持った人が多く、学部学科を超えた普段では出会えない方々と一緒に活動できるため、自分自身の成長にも大きく繋がると感じました。

また、ボランティア活動に参加している大学生は熱い思いを持った人が多く、学部学科を超えた普段では出会えない方々と一緒に活動できるため、自分自身の成長にも大きく繋がると感じました。

また、ボランティア活動に参加している大学生は熱い思いを持った人が多く、学部学科を超えた普段では出会えない方々と一緒に活動できるため、自分自身の成長にも大きく繋がると感じました。



参加した
学生の声

生命環境科学域 3年生

竹森 洸征 さん

V-stationが授業の1コマに登場！？

後期教養科目 地域文化学

10月6日(木) @オンライン

オンライン

授業

「地域文化学」は、教養科目の1つとして後期の木曜3コマに開講されており、様々な視角から地域を考察する力を養う**オムニバス授業**（毎回講師が変わる授業）です。

毎年**200人を超える受講生**を有しており、V-stationは2020年以降、3年連続で1コマを担当しています。

V-stationの担当回は毎回、講師側で**唯一学生が登場する回**として、学生目線から“ボランティア”を伝えています。

2022年度 地域文化学

大学ボランティアセンター

～若者と地域がつながるまちづくり～



大阪公立大学ボランティア・市民活動センター

V-station

03 | 学生にとってのボランティア活動



今回の授業では「**若者と地域がつながるまちづくり**」と題して、V-stationが地域の方々と一緒に実践させていただいている**取り組み例**や、**学生が担える役割**などをお伝えしました。また、学生スタッフが、自らの実体験をもとに、**ボランティアの醍醐味**についてお伝えしました。

今回の授業では**計367もの感想**をいただき、「ボランティアに対するイメージが変わった」「ボランティアを通して新しい人との出会いを経験してみたい」などのご意見がありました。

この授業を通して、新しいことを始める**誰かのきっかけ**に繋がっていただければいいと思いますし、今後もそういったきっかけを作り続けていけたらと思います。

ていきたいです。これからは頑張りたいです。

自分自身のこれまでの取り組みを振り返り、まとめてみると、自分がどんなことをしているのかがわかり、得意や強みに気づくことができました。授業を通じて、逆に自分自身について学ぶことができたと思います。

農学部 1年生
堤 朋子 さん
普段自分が受けている授業をすることになり、とても緊張しました。しかし、ボランティアセンターとして伝えたいことはなんなのかを考えて、組み立てていったのでよかったです。



参加した
学生の声

まち
づくり

大阪府・大阪市

菜種油発祥の地で灯される灯籠イベント

熊野街道に竹灯籠を灯す

10月8日(土) @大阪市住吉区遠里小野地区

「熊野街道に竹灯籠を灯す」は、大阪市住吉区の遠里小野地区が「**菜種油の発祥の地**」と言われているゆえんから、遠里小野地区近辺において開催されている灯籠イベントです。もちろん、灯籠の蠟は**菜種油**から作られています。

このイベントは2017年の遠里小野小学校創立80周年記念の時に初めて開催され、今年が**5年ぶりの開催**となりました。



今回V-stationは、実行委員会から参加し、**イベントを地域住民の方々と一緒に準備**してきました。

8月には竹燈籠のもとなる竹を実際に切りに行き、9月には竹灯籠キャンドルづくりをおこないました。

イベント当日は、灯籠を並べたり、来場された方々に撫子をお配りするなどしながら、幻想的な風景を楽しむことができました。

当日は子供たちも含め、たくさんの方が灯籠を楽しんでいる様子が見られ、心があたたまりました。

私は当日の活動とそれまでの会議に少し参加させてもらったのですが、そこで感じたのは、実行委員会の皆さま、地域の人に遠里小野のことを知ってほしいという強い気持ちです。こうしたイベントを通して、世代を問わず地域の人と交流し、地域を知ることで、より暮らしやすい地域になるのかなと思いました。

「熊野街道に竹灯籠を灯す」はその名の通り、竹灯籠に火をつけるというシンプルですが、実際にはその過程である油絞り、竹取り、キャンドル作りなどに地域を巻き込んだ、地域一体型のイベントとなっています。

法学部 2年生
泉澤 そらの さん



参加した
学生の声

みんなが楽しむ地域のお祭り。突入、森之宮！

森之宮フェスティバル

大阪府・大阪市

10月23日(日) @大阪市立森之宮小学校

まち
づくり

2025年に森之宮キャンパスが設置される大阪市城東区森之宮地域。その森之宮地域で、10月23日、森之宮小学校において地域の様々な人々が集い賑わう**森之宮フェスティバル**が開催されました。

このイベントは、森之宮の地域団体のほか森之宮小学校や保育園などで構成されている**“森之宮地域活動協議会”**が毎年開催していて、コロナの影響で今回は3年ぶりの開催となりました。

当日は、地域のPTAや子供会の出店のほか、産直野菜市や出張ライブラリーなどの地域の団体による企画や、URやセブンイレブンなど企業の方々のさまざまなブースや模擬店が展開していました。

森之宮もまた、**少子高齢化**が一つの問題として浮かび上がってきています。

そんな中、**世代を超えて誰もが共に楽しい時間を過ごすことのできる場**がそこにはありました。



V-stationからは3名の学生がイベントに参加し、防災に関する様々な情報を展示する「防災ブース」の設置や「**エアーストレッチャー体験**」のお手伝いをしました。

エアーストレッチャーは、災害時に身体の不自由な方を運搬するための道具ですが、**階段上でも引きずりながら運ぶことができます**。実際、引きずられても痛みを感じることはないそうで、体験者の方々もそれを実感されていました。このように**防災知識を深めることで、実際に災害が起こったときの対応も大きく変わる**はずです。地域の人々がそうした機会を持てることも、**地域の学校イベントにおける醍醐味**といえるでしょう。

それ以外で印象的だったのは、お祭りの中で開催された盆踊りに参加したこと。外から見ていてそこまで難しい感じがしないのに、いざ混ざると全く滑らかに踊れませんでした。ですが、地域の方からはとても喜んでいただきました！

大学生が地域に入るそこに活気が生まれるのかななどと考える良いきっかけになりました！

「快適」楽しいという意見が多かったのが興味深かったです！

主に、防災ブースでのエアーストレッチャー体験の運営をお手伝いしました。こどもからお年寄りまで、様々な年代の方にエアーストレッチャーを体験して頂いたので、

「快適」楽しいという意見が多かったのが興味深かったです！



参加した学生の声

教育文化

大阪府・堺市

誰もが「心のバリアフリー」を感じられる音楽イベント！

とっておきの音楽祭 in さかい ~OCTOBER FES 2022~

10月16日(土) @原池公園

障がいのある人もない人も一緒に音楽を楽しむことで、心のバリアフリーを目指す「とっておきの音楽祭 in さかい」を開催しました！

とっておきの音楽祭は、堺市だけでなく様々な地域で開催されており、堺市は比較的小規模なイベントですが、その分**人同士のつながりが強く、温かい雰囲気**が特徴です！老若男女問わず誰もが楽しめる音楽祭を目指し、「**みんながってみんないい**」というスローガンの下、活動しています。



今回は10団体以上の方が出演してくださり、会場は大きく賑わいました。ただ出演者さんがステージに立って歌うだけでなく、**観客の皆さんも一緒に手をたたいたり踊ったり**…。

他にクイズ形式の紙芝居講演などもあり、子どもたちが頑張って答えを考えていました。**障がいの有無を問わず、みんなで「音楽祭」という場を楽しみ盛り上げる姿は、まさに心のバリアフリー**だといえるでしょう。

では「心のバリアフリー」がそこにはあったのだと思います。

これまで自分、障がいのある方とない方の間にあるバリアに対して「心のバリアフリー」という言葉を使うと思っていました。でもこのイベントでは、障がいのある人同士の間にある心のバリアも剥がれていくような感覚がありました。このイベントならではの「心のバリアフリー」がそこにはあったのだと思います。

音楽だけでなく、クイズ形式の紙芝居やキックボクシング体験などもあり、来場者の方々もとても楽しんでくださっていました。

当日スタッフとして参加しました。このイベントで最初に感じたのは、人の温かみでした。ボランティアの方々だけでなく、出演者の方々も気さくに話しかけてくださり、手話の話題などで盛り上がりました！

森田 崇太郎 さん



参加した学生の声

堺市主催の市民講座にV-stationが登場！

堺市生涯学習サポーター養成講座 ・地域コーディネーター育成講座

10月27日(木) @大阪いずみ市民生活協同組合 (まちのリビング ここいい)

この講座は、堺市の教育委員会が堺市生涯学習課と共同で開催しているオムニバス式講座です。

学校と地域の橋渡しを行い、地域全体で子どもの学びを支援する地域コーディネーターのスキルアップや、自身の趣味や特技を生かして主体的に「学び楽しさ」を広める生涯学習活動の担い手である生涯学習サポーターの養成を目的として開講されました。

私たちV-stationは、昨年に引き続き2年連続で1コマを担当し、今回は第4回「大学生とボランティア活動 ～ようこそボランティア活動へ！成功と失敗から～」を担当しました。



今回の構成としては、まずボランティアセンターやV-stationについての説明を行い、次に実際にボランティアに参加する大学生の話をしました。

休憩を挟んで、最近の大学生の傾向についての話をした後、「地域活動を広めるためにはどうすればよいか」というお題でグループワークを行いました。

ボランティア活動にもっと親しんでもらえたら、今の大学生の生活について知ってもらえたらいいな、という思いで講演を行いました。グループワークでは、様々な視点からの意見が出て、とても興味深かったです！

初めてだったので、とても緊張しました。しかし、講演後、受講者の方に「初めは思ってたよりも上手だったよー」と言っていただけで嬉しかったです！また、グループワークでは学生の視点から出ないような意見が出てとても興味深かった一方、地域活動への障壁として、私たちが学生と地域の人で同じ考えが出るなど、地域活動の課題も改めて実感しました。

農学部 1回生
福留 花萌



参加した
学生の声

福祉

大阪府・堺市 / オンライン

「ボラがく」とは、世の中にある社会課題や状況について知る・学ぶことを目的に、1～2ヶ月に1回開催している学びあいのイベントです。

ゲストと参加者と双方向に交流することにより「一人ではできない学びを得られる場」をつくっています。

学ぶテーマは、その時のホットな話題であったり、「聞いたことはあるけど詳しくは知らない」というようなテーマを選んでいきます。

1人ではできない学びをみんなで学びあう場

ボラがく vol.19「里親」

10月31日(火) @V-stationなかもず / オンライン



全国的に里親制度などについて集中的に広報啓発が行われる「里親月間」にあわせて、10月の開催となる今回のテーマは「里親」。

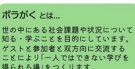
堺市内で児童養護施設を運営している愛育社から池田裕一さんをお迎えし、「里親」というテーマをさらに掘り下げ、里親支援の背景にある社会課題の1つ「社会的擁護」についてお話を伺いました。(詳しい内容は学生の感想をご覧ください)

※社会的擁護：保護者のない児童や、保護者に監護させることが適当でない児童を、公的責任で社会的に養育し、保護するとともに、養育に大きな困難を抱える家庭への支援を行うこと。



ボランティア活動の背景にある社会について学ぶ
10月のテーマ「里親」
10月31日(火) 18:30～20:00
@オンライン(ZOOM) @V-stationなかもず
ゲスト：池田 裕一 さん(愛育社)

- Vol. 19 -



ボラがくとは...

世の中にある社会課題や状況について知る・学ぶことを目的としています。ゲストと参加者と双方向に交流することにより「一人ではできない学びを得られる場」をつくります。

【参加申し込み方法】

各参加者に「ボラがく」(19)、本文に「氏名」「所属」を記入して下記メールアドレスまでご連絡ください。
※お申し込みは先着順です。参加定員は先着10名です。
受付後、ZoomのID・Passをお送りします。参加定員は先着10名です。
メールアドレス：volunteer_cmu@gmail.jp

主催：

大阪府立大学ボランティア・市民活動センター
V-station

「里親のことを知ってください」
(堺市HP)



地域保健学域 2回生
竹内 萌華 さん



参加した
学生の声

今回のボラがくで、私たちは児童養護施設の職員の方からお話を聞きました。施設に来る子どもの背景や施設での過ごし方など社会的養護が必要な子供や、その子供の生活の話から、施設よりも里親を推奨する行政の流れや、里親の大変さ、それゆえの里親支援の大切さまで、幅広く学ぶことができました。施設の方に直接お話を聞けることは滅多になく、とてもいい経験になりました！
今回私は、里親への興味からボラがくに参加したのですが、ボラがくには初めて参加したのですが、講師の方やV-stationと一緒に学ぶ方と共に雑談や質問を交えながら、里親についてとても楽しく学ぶことができました！
また参加してみたいです！

「食品ロス削減月間」

「もったいない」という言葉が文化として根付いている日本でも、年間612万トン(毎日お茶碗1杯ずつ)もの食べ物を捨てています。

日本では、2019年10月に「食品ロスの削減の推進に関する法律」(略称 食品ロス削減推進法)が施行されて以降、10月30日は「食品ロス削減の日」、10月は「食品ロス削減月間」とされ様々な取り組みが行われています。

今月は、その「食品ロス削減月間」にちなみ、「食品ロス削減」の観点から私たちにできることについて特集します。

■ 今日からできる食品ロス削減に向けた取り組みのヒント！

小さな行動でも一人一人が取り組むことで大きな削減につながります！
今回は食品ロス削減を行うためのヒントをご紹介します。ぜひ、参考にしてみてください！

①お買い物編：買いすぎない！

冷蔵庫をチェックしていきましょう。お買い得品には要注意！かえって環境にもお財布にも損にならないよう、どのようにして食べきるかイメージしながら本当に必要な分を購入しましょう。

②お料理編：おうちでも上手に食品ロス削減！

1度に食べきれない肉・魚・野菜は冷凍、乾燥などの下処理をし、1回分に小分け保存をして食材を長持ちさせる工夫を行っててください。体調や健康、今後の予定に配慮して食べきれる量を作りましょう。また、作りすぎて残った場合は、リメイクやアレンジレシピで食べきりましょう！

③外食編：注文しすぎない！食べきる！

店選びから食品ロス削減の工夫が行えます！料理の量を選べたり、食べきれない料理を持ち帰ることができるお店を積極的に選んでみましょう。注文の際には、食べられる量を注文し、おいしく食べきりましょう。



食べきりアレンジレシピ ↑
掲載！(消費者庁)

皆さんは、「3010運動」をご存じですか？食品ロス削減の日が10月30日に設定された理由ともされているこの運動。宴会などで乾杯後、30分は料理を楽しむ時間、お開き前10分は、もう一度料理を食べる時間を設けて料理を残さずおいしく食べるというものです。ぜひ実践してみてください。

■ V-stationの“食品ロス削減”の取り組み

V-stationでは、「まんぷくプロジェクト」というプロジェクトチームを筆頭に「食品ロス削減」にむけた催しや啓発活動についての取り組みを積極的に実施しています。

みなさん、「フードドライブ」という言葉を聞いたことはありますか？

「フードドライブ」とは、家庭や企業で余っている使用されない食品などを回収し、必要としている方へ配付を行うサイクルのことをいいます。

まんぷくプロジェクトでは、主に大学での物資回収を行い、必要としている学部生、院生、留学生に配付する活動を行っています。また、V-stationでは、企業と連携し、地域での回収を行ったり、さらに今後、飲食店と連携し、廃棄弁当の配付なども行うなど、地域の中での食品ロス削減にも取り組んでいく予定です。

<フードドライブとは？>



V-stationの情報をチェックして
食べなさそうな食品があれば
ぜひフードドライブに
参加してみてください！

Instagram

Twitter



V-stationカレンダー ～11月の活動スケジュール～

活動名	活動日	活動時間
生命のメッセージ展	11月4日(金) ～ 11月6日(日)	10:00～17:00ごろ
花いっぱいさかい	11月6日(日)	9:30～ 11:30
土師ふれあい祭り (子ども防災教室)	11月6日(日)	10:00 ～ 14:00
宮園文化祭 in 食フェス	11月6日(日)	10:00 ～ 15:00
しらすぎおうちごはん	11月5日(土)	13:00 ～ 15:00
	11月7日(月)	15:00 ～ 19:00
	11月14日(月)	15:00 ～ 19:00
	11月21日(月)	15:00 ～ 19:00
	11月28日(月)	15:00 ～ 19:00
Fashion Swap	11月8日(火)	昼休み(12:00 ～ 13:00)
	11月15日(火)	昼休み(12:00 ～ 13:00)
	11月22日(火)	昼休み(12:00 ～ 13:00)
	11月29日(火)	昼休み(12:00 ～ 13:00)
千早赤阪村 棚田夢灯り	11月12日(土)	10:00 ～ 20:00
オープンカレッジ	11月13日(日)	9:15 ～ 15:30
いきいき堺市民大学 コミュニティデザインカフェ	11月13日(日)	13:00 ～ 15:00
コミュニティガーデンイベント@ながもずフェスティバル	11月13日(日)	13:00 ～ 15:00
新松尾台校区スマホ相談会	11月13日(日)	13:30 ～ 15:00
夢こもんず	11月15日(火)	12:15 ～ 13:15
中百舌鳥公園団地コミュニティガーデン	11月15日(火)	13:00 ～ 14:30
インスタ Night in 大鳥大社	11月18日(金)	16:00 ～ 20:00
	11月19日(土)	16:00 ～ 20:00
ぽっかぽか共生マラソン大会	11月20日(日)	8:30 ～ 15:30
笑働の森づくり	11月20日(日)	9:00 ～ 16:00
ミンダナオ子ども図書館 文房具回収	11月22日(火)	昼休み(12:00 ～ 13:00)
	11月29日(火)	昼休み(12:00 ～ 13:00)
ピープルポート 不要パソコン回収	11月22日(火)	昼休み(12:00 ～ 13:00)
	11月29日(火)	昼休み(12:00 ～ 13:00)
ふれあい交流祭り	11月23日(水)	13:00 ～ 16:00
北区ボランティアフェスティバル	11月26日(土)	10:00 ～ 16:00
いきいき堺市民大学 ⑦	11月26日(土)	10:30 ～ 12:00
大阪難病連ボランティア学習会	11月26日(土)	14:00～15:30
ガーデンボランティア2022秋	11月27日(日)	9:30～10:30
ボランティアリーダー育成プログラム①	11月27日(日)	13:00～16:30

編集後記

～ editor's note ～

11月....あっという間にクリスマス、年越しですね。
外もどんどん寒くなっていきますし、早く衣替えをしないと...。
みなさんもぜひ風邪をひかないようにお気をつけくださいね。
そろそろ鍋の季節かな～。

【編集者 学生スタッフ S】

NEWS

11月から「公開講座」を開催！

2025年大阪・関西万博に合わせ、ボランティアに関連する地域課題を学び、実践も通しながら講座を経て地域課題に主体的に取り組む人を養成する講座を実施します。その名も、

「ボランティアリーダー育成プログラム」

全15回の講座となっています。
気になる方はお問い合わせください！



大阪公立大学ボランティア・市民活動センター V-station

〒599-8531

大阪府堺市中区学園町1-1 中百舌鳥キャンパスB12棟2階

TEL:072-254-7484 Mail:gr-gks-volunteer@omu.ac.jp



公式HP



Instagram



公式LINE



Twitter

